

2016 年度 森泰吉郎記念研究振興基金 研究成果報告書

研究課題名	脅威の「増幅装置」としての気候変動：アフリカにおける旱魃と紛争の連関
研究代表者氏名	小林 周
所属	政策・メディア研究科 後期博士課程

本研究は、気候変動がいかんにして国家や地域の安全保障環境を不安定化させ、紛争リスクを増幅させるのかというプロセスを明らかにすることを目指す。その上で、ガバナンスや安全保障環境が不安定な国・地域では気候変動が脅威の「増幅装置」として作用することで紛争のリスクが高まり、紛争や政治変動がさらに気候変動への脆弱性を高める、という連関を示す。同時に、問題の分析だけでなく、気候変動と紛争のリンケージを緩和するための制度的、技術的取り組みの有効性についても考察する。

2016 年度森泰吉郎記念研究振興基金の助成により、調査機材および関連書籍の購入、アフリカにおけるエネルギー・気候変動問題に関する学会発表（2016 年 7 月、九州大学）が可能となった。これらの成果により、研究課題に関する調査研究の蓄積と、今後の国際的な研究・学術交流ネットワークの構築が可能になった。

今後も、本研究を通して気候変動リスクへの脆弱性を高める要因（とその組み合わせ）を検証することで、今後深刻化すると想定されている気候変動に対処するための政策面での現状と課題、そして改善点を明らかにしていく。また、中東やアフリカ地域を始めとして気候変動に脆弱な諸国が抱える特徴を明らかにし、問題解決のためのグローバルな取り組みに貢献するための知見を提供していきたいと考えている。